

【議事録】令和6年度第2回 大田区環境審議会

【開催日時】 令和6年12月20日（金） 午後3時から午後5時まで

【会場】 大田区役所 本庁舎11階 第五・六委員会室、Webexによるオンライン併用

【出席委員】

奥 真美	東京都立大学都市環境学部 教授
島田 正文	一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問
志々自 友博	中央大学理工学部 教授
長谷川 紀子	公募区民
田村 昌之	公募区民
大川 由香理	公募区民
青山 明日香	公募区民
千葉 茂	東京商工会議所大田支部
阿部 敏章	NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり
島田 正文（兼務）	グリーンプランおおた推進会議
榊原 健司	一般財団法人大田区環境公社
高瀬 三徳	まちづくり環境委員会 委員長
河原田 光	企画経営部 施設整備担当部長
梅崎 修二	産業経済部長
西山 正人	まちづくり推進部長
遠藤 彰	都市基盤整備部長
山田 良司	環境清掃部長
今井 健太郎	教育総務部長

（以上、敬称略）

【欠席委員】

山本 幸男	大田区自治会連合会
坂野 達郎	おおたクールアクション推進連絡会
小山 君子	大田区清掃・リサイクル協議会

【傍聴者】 2名

【関係部局】

施設保全課長、工業振興担当課長、都市計画課長、環境対策課長、清掃事業課長、指導課長

【事務局】

環境計画課長、環境計画課計画推進・温暖化対策担当

【次第】

- 1 開会
- 2 議題 (仮称)第2次大田区環境基本計画素案について
 - 論点①施策(取組の方向性)に関する意見・アイデア
 - 論点②カギとなる指標に関する意見やアイデア
 - 論点③ロードマップ(2030・2050)に関する意見・アイデア
- 3 閉会

【配布資料】

本紙 令和6年度第2回大田区環境審議会
資料1 (仮称)第2次大田区環境基本計画素案

***** 以下、議事全文*****

【議事】

発言者	発言内容
● 開会に際しての事務連絡・資料確認	
環境計画課長	<p>定刻となりましたので、令和6年度第2回大田区環境審議会を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中また大変お寒い中にも関わらず、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>事務局の環境計画課長 柞木です。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催に際しまして、いくつか事務連絡をさせていただきます。</p> <p>本会議は、会場と Webex によるオンラインでの参加を併用して行います。</p> <p>オンラインでの参加の方は、通信負荷軽減のため、会議の間、マイクとカメラをOFFに していただき、ご発言の際のみONにしてください。</p> <p>この審議会は公開制でございますので、傍聴席を設けております。</p> <p>傍聴される方は、入場時に渡された傍聴券に記載の禁止事項を守ってください。</p> <p>禁止事項をお守りいただけない場合、ご退出いただく場合がございますので、予めご了承ください。</p> <p>なお、議事録作成のため、事務局で録音させていただいておりますので、ご了承ください。</p> <p>次に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本紙 令和6年度第2回大田区環境審議会 資料1 (仮称)第2次大田区環境基本計画素案 以上、2種類です。</p> <p>資料に不足がある場合には、事務局までお声かけください。</p>

	<p>なお、本日、3名の方がご都合により欠席でございます。 それでははじめに、奥会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>● 【次第1 開会】</p>	
奥会長	<p>皆様こんにちは。 本日はオンラインで失礼いたします。 今年度、第2回の環境審議会ということで、会議の場を設けさせていただいております。 第1回目は、書面会議という形で、事務局が作成した環境基本計画の素案（ドラフト版）についてご意見をいただき、それを本日また事務局のほうで取りまとめたものを、素案の資料として、準備していただいております。 こちらを後でメインに意見等いただきたいというふうに思っております。 本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
環境計画課長	<p>ありがとうございました。 これより、議事進行を奥会長と交代させていただきます。 奥会長、よろしくお願いいたします。</p>
奥会長	<p>では、次第にそって進めさせていただきます。 本日の議題は「(仮称) 第2次大田区環境基本計画 素案」についてです。 これから事務局より素案の説明と本日の論点について説明がございますので、後ほど委員の皆さまで意見交換をお願いいたします。 なお、会場とオンラインを併用しての開催のため、議事進行にあたっては、事務局に一部補佐をお願いしたいと思います。 それでは、事務局より、報告をお願いします。</p>
<p>● 【次第2 議題】(仮称) 第2次大田区環境基本計画素案</p>	
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>担当係長の西山と申します。 よろしくお願いいたします。 着座にて説明させていただきます。 今回、計画の素案について意見交換をしていただき、奥会長のお話にもありました通り、要点を整理し計画素案とは少し形式を変えて資料作成しております。 行政計画になじみがない方には、なかなかなじみにくいかもかもしれませんが、その辺も含めて、いろいろと意見をいただければと思います。 前提として、今回の計画は、行政の一計画という側面はありますが、本審議会は地球全体の環境を含めて人間・動物・植物も含めて絡んでくる話をしている会議ですので、みんなとシェアし、みんなが主体となって進めて、実践して動かしていくものです。 みんなが主役という点では、この計画内の文章は、いわゆるその役所の計画みたいところで、行政が推進しますというところもありますが、計画内の主語は、区役所だけではなく、区民の皆さん、事業者の皆さん、それぞれが私たちという主語になると思っております。</p>

<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>ここで行政がこうします、ああしますという話ではなくて、できるだけ素案の書きぶりについて、特に取り組みの部分では、私たちがこうしますという形の書きぶりにしていきたいなというふうには考えております。</p> <p>後程、いくつかの論点について、委員の皆さんに意見交換を行っていただく際には、それぞれの立場、日常の経験から、自分がこういうことができるのか、ああいうことができる、こうやればいいんじゃないか、というような方向で話のほうをふくらませていきたいというふうに考えております。</p> <p>今日は計画を策定するという堅苦しい会議の場ではありますが、そんな難しい話だけではなくて、計画の大枠は前回までに、大体ご了承頂けていると思いますので、その大枠を土俵としていただいて、それぞれの立場から、皆さんが考える環境の取り組みを共有していくということが、本日の一番の目標と考えております。</p> <p>後の論点のところ、いろいろ話があれば、そのエッセンスを取り入れさせていただいて、素案から完成版に向けて、ブラッシュアップしていきたいと考えております。</p> <p>ここまでが前提となります。</p> <p>これから少し長くなりますが、資料の説明をさせていただきます。</p> <p>今日の説明の流れは、本紙にそって計画の大枠のこれまでお話ししてきたことや、書面会議にていただいた意見を踏まえ、こう変わりますというところを説明させていただいた後に意見交換をしていただきたいと考えております。</p> <p>今回初めての試みですけれども、計画の概要をわかっていただく入口として、見ていただければいいなということで、アニメーション動画を作成しました。</p> <p>動画を見ていただいて、実際の本編素案について、構成の細かなところをご説明させていただきます。</p> <p>それでは資料の本紙をご覧ください。</p> <p><本紙 スライド2></p> <p>今回は議題として、(仮称)第2次環境基本計画素案について、また後程ご説明しますけれども論点のある程度絞らせていただいて、進めさせていただきます。</p> <p>はい、次のスライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド3></p> <p>こちらは前回からの振り返りということになりますけれども、今回の1つのポイントとして、これまでご説明してきましたけれども、脱炭素社会への移行、自然再興の取組、循環経済への移行の3つはそれぞれ繋がっていて一体となった課題解決が必要だということ、昨年度からお話しをさせていただいております。</p> <p>この3つの目標達成を通じて、この円の真ん中にある持続可能な環境先進都市を目指すものであるということです。</p> <p>今回、いわゆるウェルビーイングの視点も大切じゃないかというようなご意見をいただいておりますので、その視点を右下のところにつけ加え、環境・生活・経済の好循環という</p>
---	---

<p>環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>考え方はこれまでの経過を踏まえ、大田区らしいウェルビーイングの実現ということで、当然このような道筋になるだろうというふうな考えをお示ししております。</p> <p>次のスライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド4></p> <p>目指す姿にどれだけ近づいたかの設計のお話となっております。</p> <p>ここは、以前「環境力」、「地域力」、「産業力」として設定していたもので、前回の夏の環境審議会で、いろいろ意見をいただき、皆さんからわかりにくいという意見をいくつかいただいております。</p> <p>また、何がよいという位置付けも難しいなという面がありますので、そもそも指標設定の話として、3つの要素については、視点という表記がスライドにもございますけれども、鍵というコンセプトで、見直しをさせていただいております。</p> <p>力の概念につきましては、区民1人1人の日常生活を表す「生活」、事業者の経済活動を表す「経済」がお互いに手を取り合い一緒に行動することによって、あらゆる営みの基盤となる環境を推し上げて、未来に向けた推進力という形で、力を表現させていただいております。</p> <p>この後、アニメーション動画のほうでもそういう動きを表現しておりますので、そちらのほうがりわかりやすいかと思っております。</p> <p>次のスライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド5></p> <p>今回新たな試みとして、計画の概要となるアニメーション動画を制作しました。</p> <p>計画の基本的な考え方を約3分で、簡単に表現をしております。</p> <p>計画素案のパブリックコメントは、今週12月16日の月曜日から開始し、インターネットでも公開しております。</p> <p>アニメーション動画を1つの入口として、計画本体も皆さんに手に取っていただければと考えております。</p> <p>はい、次スライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド6></p> <p>冒頭にみんなが主役というお話をしましたがけれども、そういう計画の考え方から、区民・事業者、みんなの日常の活動シーンごとに、施策（取組の方向性）を整理し、各活動シーンのネーミングを、「くらす・はたらく」や「はこぶ」、「ともにいきる」とかにしました。</p> <p>これは、前回いただいた意見をもとに反映しています。</p> <p>右側の「しる・まなぶ」、「つながる」については、すべての活動シーンに関わるものとして、横断的な見せ方をしております。</p> <p>分け方として、例えば、「まなぶ」というのは、こっちの方に入るではというのがありますけれども左の方は、どちらかということ、物とか、事に関係するもので、右側の「しる・まなぶ」、「つながる」については、情報とか、ネットワーク、そういうバーチャルなものをここ</p>
--	---

<p>環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>に分けております。</p> <p>次のスライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド7></p> <p>計画の進行管理では、気候変動とか、生物多様性とか、地球環境の変化、最近この暑さもそうですけど常に情報や技術は日に日に変わってきておりまして、世界の技術革新は本当に日進月歩というところで、これまでの10年計画、5年の中間見直しという時間軸では、なかなか追いつけないというところがございます。</p> <p>情報や技術とかは、すぐに陳腐化してしまうというところがございますので、今回の計画を2階建ての2層にしております。</p> <p>基本計画では方向性だけを示し、具体的な取組は、毎年見直す1年まわしの行動計画で、事業の新陳代謝を図るというようになっていきます。</p> <p>従って、今回の議題である素案本編では、取組の方向性までとなっております。具体的な何をやるのかわからないというご意見を今までいただいておりますけれども、それについては、基本計画は方向性の話という形で、新たな整理をしています。</p> <p>イメージとしては、目的地のどこかにいくにあたっては道があり、道というのはそこまでたどり着くまでの施策（取組の方向性）で、その道をどういう乗り物でいくかが、具体的な取組の行動計画ということになるというイメージです。</p> <p>行動計画のパートについては、本日議題の計画素案のほうでいただいた話を踏まえて内容を膨らませて、次回に向けて確認していただきたいと思っております。</p> <p>あわせて、前回吹き出しでご覧いただいた事業評価の方法についても、今準備中でございます。次回の環境審議会でもまた詳しくということになります。</p> <p>それでは、次のスライドをお願いします。</p> <p><本紙 スライド8></p> <p>これは計画素案の巻末のほうになりますけれども、今回、計画のさらに先の未来を見据えた施策のロードマップとして、イメージを出させていただいております。</p> <p>本紙3頁の円環のコンセプトイメージを2050年度までという時間軸で表現し直すと、こんな形になるかなというところなんです。</p> <p>現在の計画の大田区環境アクションプランでは、3つのゼロを掲げておりまして、温室効果ガス排出量実質ゼロ、海洋プラスチックごみゼロ、食品ロス実質ゼロを掲げ、これを大田区環境ビジョン2050としていました。</p> <p>新たな計画では、先ほどのウェルビーイングという考え方も取り入れて、この3つゼロの達成を通じて、その先のプラスの方向に、私たちの暮らしの質を上げていくという意味で、ゼロからポジティブへというコンセプトを考えております。</p> <p>大田区環境アクションプランで掲げたゼロをさらに未来に向けてポジティブに持っていくというストーリーです。</p> <p>次のスライドをお願いします。</p>
--	---

<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p><本紙 スライド9></p> <p>本紙の最後に、計画策定までのスケジュールをお示しさせていただいております。 パブリックコメントは、12月16日の今週月曜日から実施させていただいております。 同時にパブリックコメントの実施に関する区ホームページには計画概要のアニメーション動画も掲載しております。</p> <p>本日12月20日の大田区環境審議会で審議や意見交換をしていただき、年明けの1月に内部会議の大田区環境基本計画推進会議を開催し、パブリックコメントの結果報告とか、本日の議論を踏まえて最終的な調整を行います。</p> <p>そのあと、2月に入りまして、2月4日に予定しております第3回の大田区環境審議会において、計画案を最終確認していただこうと考えております。</p> <p>3月に入りまして、区議会の委員会に報告させていただき、3月下旬に計画の決定を予定しております。</p> <p>本紙の説明は、以上でございます。</p> <p>立て続けとなりますが、先ほどからお話してましたアニメーション動画をここでご覧いただけます。</p> <p>これまでの計画策定において、区民の皆様への説明の際には計画概要版をもとに区民説明会を行ってきたところで、一般の方々には内容が専門的で、計画はなかなか敷居が高いと感じています。まだ、どこまでうまくいくかわからないですが、計画をご覧いただくきっかけになればと考えております。</p> <p>では、動画をご覧ください。</p> <p><動画視聴></p> <p>○タイトル：アニメで解説！3分で分かる「みんなの行動で持続可能な未来につなぐ～環境先進都市おおた～</p> <p>アニメーション動画は、以上でございます。</p> <p>次に、今回の素案本編の構成を説明させていただきたいと思います。</p> <p>今回、計画素案の全体の流れを確認いただき、細かいところの誤字脱字とかの表現は最終版までに、調整することを考えています。</p> <p>今回は、ここに脱字があったとか、細かいところについては、本日の審議会とは別に書面等で、意見をいただく機会を設けたいというふうに思っております。</p> <p>本日は、そういう細かいことではなくて、この後の論点に沿って意見交換を行っていただきたいと考えております。</p> <p><素案本編></p> <p>本編について、表紙は仮のもので最終的にデザイン化し、もう少しキレイにしていこうと</p>
---	--

<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>考えています。</p> <p>次（1頁）は、メッセージと目次で通常の構成になっています。</p> <p>ここ（2頁）からが本編の部分になっておりまして、まず計画策定にあたって、計画策定の背景の説明から始めております。</p> <p>ここ（2頁）では世界の動向を簡単にまとめていますが、直近の世界の動きがございまして、実際に計画の記載内容を固める時に文言の調整が必要になるのではと考えています。</p> <p>なお、この計画における用語解説は、例えば巻末にまとめて記載するのではなく、その場で確認ができるように小さいですが各ページの下のほうでまとめています。</p> <p>次（3頁）は国の動向で、その次（4頁）に東京都の動向が続きます。</p> <p>ここ（5頁）から区の環境を取り巻く現状と課題で、主に「脱炭素社会への移行」、「自然再興の取組」、「循環経済への移行」を中心に調査データに基づいた課題の洗い出しを行っております。</p> <p>各ページの構成は左上から現状、イメージ画像、グラフなどを入れておりまして、右下に課題をまとめる構成としております。</p> <p>次（6頁）は、自然再興の取組です。</p> <p>次（7頁）が、循環経済への移行です。</p> <p>（8頁）先ほどあげた3つに課題に加え、区的生活環境に対して、区民はどのような意識を持っているかをもう少し深掘りして記載しています。</p> <p>次（9頁）は環境問題の解決には特定の誰かが、何かをやればよいということではなく、行政も含めてみんなが自ら行動をする必要があります。</p> <p>先ほどから、みんな等としていますが、環境配慮行動へのきっかけはどういうものがあつたかを分析したのになっています。</p> <p>ここまでが現状と課題を踏まえて、今後、どのような考え方でとか、アプローチで対応していくかをまとめた頁です。</p> <p>現行の環境基本計画である（10頁の）左側の大田区環境アクションプランでは、いろんなグローバルな状況をとらえて、次の計画では、どのように更新しアップデートしていくかということになります。</p> <p>ここ（11頁）から、2頁が計画の基本的事項で、これはお決まりの説明になっています。</p> <p>こちらの頁は計画の目的や期間をはじめ、基本的な情報となっています。</p> <p>計画期間は令和7年4月から2030年度までです。また、この計画の位置付けは、国や都の計画等を踏まえ、区の環境に関係する計画を包含する計画です。</p> <p>ここ（13頁）から2頁が、区の環境が目指す姿です。</p> <p>最初に本紙で目指す姿を見ていただいたところです。</p> <p>次（14頁）に先ほど指標設定の考え方において課題感を話しましたが、それに基づいて右側に、具体的な指標の案を一覧化しております。</p> <p>環境・生活・経済の3つの視点から指標を分類しておりまして、環境の状態の目指す姿を示す指標と、視点ごとにかかる「生活」、かける「経済」と、主に意識・行動を示す指標となっております。</p>
---	--

<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>こちら各指標は、まだ案段階のもので、これで決定ということではございません。後程、論点としてご意見いただきながら、またさらに更新していきたいなと思います。</p> <p>ここ（15 頁）から目標達成のための取り組みの方向性で、ここで分けた施策体系を次の頁から各活動シーンの施策（取組の方向性）の頁となっております。</p> <p>1 番目（16 頁）が、「くらす・はたらく」における取組の方向性です。</p> <p>あと具体的な説明として最初に各活動についてのメインピックスを書いておまして、以下、施策ごとの取り組みについて、区民・事業者の取組例を挙げながら説明する形となっております。</p> <p>取組の方向性は環境配慮型ライフスタイルへの転換と、脱炭素のまちづくりの推進となっております。</p> <p>続きまして（17 頁）、「くらす・はたらく」の続きで、取り組みの方向性は健やかで快適な暮らしの質の実現となります。</p> <p>続いて下半分になりますけれども、「はこぶ」における取組の方向性は、1 つで環境にやさしい輸送手段の充実となっております。</p> <p>次（18 頁）が、「ともにいきる」という活動シーンです。</p> <p>取組の方向性はグリーンプランおおたと連携したみどりのまちの実現と、生物多様性の保全・再生です。</p> <p>次（19 頁）が「つくる・つかう・すてる」の取組の方向性は3 つです。</p> <p>ごみを排出しないライフスタイルへの転換、資源の再生利用の推進、食品ロス削減の推進となっております。</p> <p>次（20 頁）は大田区環境アクションプランの気候変動適応方針を引き継いだものです。前回と大きな変更はなく基本戦略と分野別の取組の方向性となっております。</p> <p>次（21 頁）は、「しる・まなぶ」、そして「つながる」です。</p> <p>これらはこれまで普及啓発として活動してきたもので、それを1 つのイメージとして表現しています。</p> <p>人と情報のネットワークをデジタルとリアルのかけ合わせと、パートナーシップによって行動変容の輪を広げるというものです。</p> <p>次（22 頁）が計画の進行管理、計画を推進する体制と先ほどの2 階建ての進行管理について記載しております。</p> <p>最後（23 頁）は、持続可能な未来に向けたロードマップとなっております。</p> <p>今回の計画期間は 2030 年までで、その先の未来をイメージしていただけるように、この頁を設けました。</p> <p>大田区環境アクションプランで掲げた3 つのゼロの達成を通じて、その先のポジティブによって、暮らしの質の豊かさを目指していきますというものです。</p> <p>これについては、具体的なところで、もっとわかりやすい表現とか、かっこいい表現とか何かアイデアがあれば皆さんの方で論点として、意見交換をしていただきたいと思います。</p> <p>長くなりましたが、資料の本紙、アニメ動画、あと素案本編の説明は以上となります。</p> <p>会長にお返しします。</p>
---	---

<p>奥会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局の方から、こちらの環境基本計画素案について説明があり、またそれを紹介するアニメーション動画も、披露していただきました。</p> <p>ここまでの部分でご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>会場の方は挙手をしていただきまして、オンラインの方は、カメラをONにしていればそれで分かりますので、お願いいたします。</p> <p>今回の特徴は、2層構造にするというところが、大きく違うところです。</p> <p>進行管理のところでは構造は説明されていますけれども、環境基本計画では取組の方向性まで定めるとのことなので、その下にぶら下がってくる具体的な取組については、行動計画のほうで、これから示していくということのようです。</p> <p>その点も含め、ご意見ございますか。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>青山委員お願いします。</p>
<p>青山委員</p>	<p>公募区民委員の青山と申します。</p> <p>すごくわかりやすい資料に今までと比べてなっていると思ひまして、事務局の方で皆さんの意見を反映されていてすごく伝わりやすくなっていると思ひます。</p> <p>1点だけ、最初に暮らしの質の向上に繋がるという本紙の3頁のところで、好循環が起ることによって、暮らしの質が向上していきますよ、みたいなお話があったかと思ひます。</p> <p>計画素案の資料のほうで、好循環というのが、具体的に何がどう好循環することで暮らしの質に繋がっていくのか、ちょっとわかりづらいなと思ひたので、どういうことが好循環を指しているのか、もうちょっと伝わりやすくなると、より区民の方とかにもわかりやすいのかなと思ひました。</p> <p>その辺のご説明はどこかでされたりしてますでしょうか。</p>
<p>奥会長</p>	<p>事務局回答をお願いします。</p>
<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>好循環については前の環境基本計画や現在の環境アクションプランの考えを引き継いでおります。</p> <p>この資料だけではわかりづらいと思ひますので、少し記載を書き加えなければいけないかなと感じております。</p> <p>説明としては大田区環境アクションプランから引用するのがよいと思ひますので、その部分を読ませていただきます。</p> <p>大田区環境アクションプランでは大田区の目指す将来像となっていて、具体的には、「大田区が持つ「地域力」を生かしたこれまでの取り組みをより一層推進するとともに、区民生活と産業、そして環境がそれぞれ調和し、一方の向上が他方の向上を引き出すような、効果的な好循環を伴う地域づくりを推進します。</p> <p>また、環境問題への対策を制約やコストではなく、技術革新などの産業分野の発展の機会と捉えて次なる成長へ繋げ、経済の発展と活性化が環境に好影響をもたらす「環境・経済・社会の好循環」の実現を目指します。」というような内容です。</p>

	<p>ちょっと表現が堅いですけど、この内容を素案のほうでも、わかりやすく噛み砕いて記載するような形にしたいと思います。以上です。</p>
青山委員	<p>今、お聞きした内容で把握できましたので、それを資料の中に入れていただいてわかりやすく噛み砕いていただければと思います。</p>
奥会長	<p>そこは、しっかりと内容が伝わるように、資料のほうに説明を加えていただくということをお願いいたします。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>田村委員お願いします。</p>
田村委員	<p>2つほどお尋ねしたいことがあります。</p> <p>まず1点目は行動計画、2階建て部分の行動計画というのは具体的にどのタイミングで、策定されるものかを教えていただきたい。</p> <p>あと、もう1つは細かい点ですけれども、今回みどり率を新たに指標としていますが、第1次の環境基本計画の中では緑被率を指標としていました。</p> <p>その点、2つの言葉と定義が違いますので、今回新たに第1次計画の緑被率からみどり率に変えた理由と考え方を教えていただいというふうに思います。</p> <p>以上、2点です。</p>
奥会長	<p>いずれも重要なポイントなので、事務局お答えをお願いします。</p>
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>まず1点目の行動計画をどのタイミングで策定するのかについて、今現在、いろいろと資料は作成中です。</p> <p>区役所では予算の関係もありますので、来年の予算がある程度見えてきたところでない と、事業の詳細がまだ決まらないので、年明けから内容を固めていきつつ、次の環境審議会 が2月にございますので、そのときにある程度のものお出しできればなというふうに考 えております。</p>
奥会長	<p>2月4日が次回の環境審議会ですので、そのときに行動計画の案のようなものをお示しい ただけるということでよろしいですか。</p>
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>その通りです。</p> <p>最終的に確定するのはもちろん区役所の事業が、中心に書かれていくような形になるか と思いますので、最終的には、来年度予算が3月末の議会で議決を経て、その後公表とい うことです。</p> <p>2点目のみどり率について、グリーンプランおたでは緑被率を指標としていて管理され ています。ネイチャーポジティブは、生物多様性における1つの大きなテーマでございま して、みどり率は水や水辺なども関係しています。</p> <p>緑被率というのは緑に覆われている部分で、本来、緑は水や水辺の面積とかも関係してき ますので、生物も樹木とかも水や水辺が関係してくるので、今回みどり率を新たな指標とさ せていただいております。</p>
奥会長	<p>わかりました。</p> <p>みどり率は、緑と水辺の部分も両方合わせて、みどり率というふうに表現しているとい うことですね。</p>

田村委員	<p>それは私も理解しているのですが、みどり率には公園の土の場所みたいのも含まれてしまう。</p> <p>そのため、公園の緑が少なくなったとき、感受性が低くなると私はいろいろ解釈していますが、公園の緑が少なくなった場合、これはまずいと思います。</p> <p>感受性を下げってしまうので、私は緑被率も守るほうがいいとは個人的には思っているのですが、そういう意味で変えた理由を質問させていただきました。</p>
奥会長	<p>今のご指摘に対して事務局はいかがでしょう。</p>
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>この計画は、もちろんグリーンプランおたとの関連もあります。</p> <p>グリーンプランおたで緑被率を指標管理しているのは、今、田村委員のおっしゃった点を重要視されていると思います。</p> <p>環境基本計画のほうでは、生物多様性の要素も入れたいとの思いもございますので、みどり率という指標で、1つ示させていただきたいなと思います。</p>
奥会長	<p>島田副会長からも今の点について、何かございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょう。</p>
島田副会長	<p>島田でございます。</p> <p>指標の使い方という指標を使うかというのは、議論があるところですが、社会一般的には自治体を中心で、よく使われるのが今話に出ている緑被率です。</p> <p>植物によって覆われている部分で、もちろんご存知の方もいらっしゃると思います。</p> <p>加えてお話しますと、空中から見て緑で覆われている部分を指しますし、もう1つは緑地率というのがあって、これは公園だと今お話に出ました大地の部分なんかを含めているような場合が多いです。</p> <p>それで、みどり率というのは、さらに水面・水辺を含めたものです。</p> <p>緑地率にしろ緑被率にしろ、いろんな工夫をしていろんな施策をしているけど、なかなか、緑地率・緑被率が上がらないぞ、数値が上がらないようなことも背景にあります。</p> <p>東京都が20数年前ぐらいだったと思いますが、みどり率だったら、水面・水辺を入れれば当然都市の緑の比率というのは上がってきますので、多くは市街地の30%を目標にずっとしてきていると思います。</p> <p>そんな背景もあって、多分、私も察するに、大田区では、そんな背景を見ながら、水面・水辺も環境保全上、非常に重要なところがございますので、水面・水辺を入れたみどり率をお使いになっているのか、さっきお話に出ました水面・水辺はやっぱ水生動植物及び生物多様性に準ずるようなところがございますので、そういったことも含めているのかと察しています。</p> <p>緑被率は、おっしゃる通り良いところ悪いところがあって、植物は成長すると、当然樹冠が広がりますので緑被は当然広がり、ただ伐採とか木を切ると、それはもう下がるということで変動があります。</p> <p>その辺の矛盾点も、おそらく区の方が考えながらということで、区を応援しているわけじゃないですが、みどり率を使うのも1つの手かなと思います。</p> <p>ただ、ちょっと気になるのは、今まで緑被率を経年的な指標としてきたのを、ここで変え</p>

島田副会長	<p>ることはこれまでの変化を見ていくような時に、先ほど田村委員がおっしゃったような関係性が不明確になるというお話ももっともだと思います。</p> <p>この辺は折衷案で併記する手もあるかもしれませんが、そういう考え方もあるかと思うので、これは事務局で慎重に考えられて、しばらく両方やってみてその状況を見てどうするかというのをまた考えてはどうか。</p> <p>突然あるときから、がらっと変えてしまいますと今までのことはどうなのかという話が当然でできます。</p> <p>会長いかがでしょうか。</p>
奥会長	<p>生物多様性を考えると水辺の部分も重要ととらえられ、指標をみどり率ということで考えられたのではないかということなのですが、ただ緑被率については、これまでもグリーンプランのほうで抑えてきていて、これからもグリーンプランの方で指標として経年変化を見ていくということになるということによろしいですか。</p> <p>事務局のほういかがですか。</p>
島田副会長	<p>少しよろしいでしょうか。</p> <p>都市計画課と調整されているということで、従来通りの比率をグリーンプランおたのほうでということですので、環境計画課でこの数字を調べずともグリーンプランのほうから、その数値が回ってきますので、それに関する労力とか費用が多分なくて併記ということがよろしければ、それでいけるかなと思います。</p>
奥会長	<p>ただいまの点との関連でまちづくり推進部長の手が拳がってらっしゃいますので、お願いいたします。</p>
まちづくり 推進部長	<p>まちづくり推進部長西山です。</p> <p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>今、島田副会長からお話ございました通り、私どものほうでグリーンプランおたという緑の基本計画を所管しております。</p> <p>本計画では、今話題に出ています緑被率を引き続き指標としていくことで考えております。</p> <p>指標についての考え方とともに、今回グリーンプランおたを改定した中で、これまで緑被率というどちらかという量の取り組みを頑張っていこうということでやってきたところですが、今、島田副会長の方からもお話に出ました通り、緑の量的な部分ではやはり減ってきているところがある中で、一方で量ではなくて質の部分もグリーンプランおた改定の中で大事な視点で、委員の皆さんからご意見いただいてきた中で、そういった考え方で緑被率はおさえますが合わせて取り組みを進めていこうということで考えているところでございます。</p> <p>島田副会長のほうからもありました緑被率というと空中から空撮して撮影いたしますので、例えば、芝生の上に木があるとその重なった部分は、緑としてカウントされないという緑被率と逆転みたいなのところもある中で、グリーンプランにおいては、緑被率を押さえつつ、質のところでも転換していこうということで、関連する環境基本計画との連動を図る中で、環境基本計画の中ではみどり率を指標とする方向性を出してきているということです。</p>

まちづくり 推進部長	説明長くなりましたが、関係性を説明させていただきました。 以上です。
奥会長	田村委員、いかがですか。 今までのご説明をお聞きになって、背景がわかりましたけれども。
田村委員	例えば、緑被率の場合、大きな木だと緑被率が大きく係数が増えます。 だから、例えば地球温暖化の防止という観点では緑被率を見たほうが、私はいいような気がするのですが、その辺の考え方はどうなのかをもう一度お尋ねしたいです。
奥会長	地球温暖化対策としての緑の役割を考えた場合ということですね。
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	確かに地球温暖化という点では、上から太陽が照らすところは、緑のほうがいいかと思 います。 確かにそういう面もございまして、先ほど併記というお話が出てきましたけれども、そこ も加えながら、もう1つ、地球温暖化としての生物多様性ということもございまして、我々 としては、いずれ水の部分もとらえていかないというのもあるので、併記するかどうか検討 させていただきたいと思っております。
奥会長	島田副会長、どうぞお願いいたします。
島田副会長	田村委員がおっしゃることはわかるのですが、水面水辺も地球温暖化の緩和に非常に役に 立っていることは、田村委員も十分ご承知だと思うので、みどり率もそれなりに意味がある かと思えます。 みどりを増やすことは当たり前のことだけど、逆に言うと水辺・池等々の水面をふやすと 記載や数値を掲げることによって、大田区がそれをふやしてくれるっていうところに、期待 するようなこともありかと思っております。 田村委員、いかがでしょうか。
田村委員	緑被率は島田先生のグリーンプランおた推進会議で管理されるってことなので、そちら で数字があきらかになるならばそれはそれでいいかと思えます。
奥会長	そうですね。 緑被率をなくすわけではないので、環境基本計画の関連計画としてグリーンプランおた を位置付けられるので、グリーンプランおたのほうで緑被率を把握するのであれば、例え ば環境基本計画の下にぶら下がってくる行動計画で緑被率を確認できるような工夫も、まだ あり得るかもしれませんので、検討をお願いしたいと思います。 事務局よろしく申し上げます
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	各委員の貴重なご意見ありがとうございます。 今、みどり率のお話等をちょうだいいたしまして、それぞれの必要性の意義があつて、そ ういうものが存在しています。 先ほどの繰り返しになりますが、環境基本計画の策定においては、それぞれを基本的には 併記する方向で改めて検討していきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。 以上です。
奥会長	ありがとうございます。 他いかがでしょうか。

奥会長	千葉委員いかがですか。
千葉委員	<p>レポートには全くない視点ですけれども、東京都の小池都知事が、週休3日ということを言っています。</p> <p>この週休3日というのが、環境あるいはカーボンゼロの関係でそのことをおっしゃっているのか、あるいは働き方や介護の問題だとか、子育ての問題だとか、そういうことでおっしゃられているのかは、私は把握していませんが、環境負荷を考えると、小さな積み重ねもちろん大事で、大田区の職員が週休3日になると相当大きな環境負荷が減るのではないと思います。</p> <p>逆に、近隣の飲食店は、お客さんが減って困ったことになるのかもしれないけれども、そういう思い切った視点というのも、1つ必要なのではないというふうに思いますので、意見だけ申し上げさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
奥会長	<p>そうですね。</p> <p>環境だけの話ではもちろんないだろうと思いますけれども、大田区の方では、先日、基本構想にぶら下がる基本計画の審議会が最終回を迎えて、取りまとめが行われたところなので、今度はそのさらに実行計画がその下にぶら下がってきますので、本来であれば基本計画の実行計画のほうで、そういった大きな変革に繋がるような話というのは打ち出していただくというのがよろしいのかもしれないですね。</p> <p>ご意見ということですので、ありがとうございます。</p> <p>他いかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>今回、2層構造にするということなのですが、22ページの進行管理のところではなくて、12ページの計画の位置付けところに環境基本計画は、どういう計画を包含するのかということの説明されていますけれども、さらに、行動計画がここにぶら下がってきて毎年度見直していくものになっているというのが、その計画の構造でわかるように、12ページでまずご説明いただいたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>そこも工夫していただければと思います。</p>
環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)	<p>会長からお話があった12ページの話ですけれども、こちらのいろんな国とか都とか、区の基本構想、基本計画ですね。</p> <p>あと関係計画のところを説明させていただいているところで、行動計画というのは後で出てきますので、ここにどういう形で表現できるかは考えているところで、こちらの表現についてはまた検討させていただきます。</p>
奥会長	<p>お願いいたします。</p> <p>それではよろしければ、論点の①から③というのがございまして、それぞれの論点について、委員の皆様からご意見やアイデアをいただきたいという事務局の意向があるようで、少しこの論点については事務局からご説明頂いて、その上でご意見等をちょうだいできればと思います。</p>

論点①施策（取組の方向性）に関する意見・アイデア

<p>環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>論点をご用意させていただいております。</p> <p><本紙 スライド 10> 1 点目です。</p> <p>取組の方向性に関する意見やアイデアをいただきたいというふうに思っておりまして、実際の素案では 16 頁から活動シーンでまとめている頁がございます。</p> <p>皆様にお伺いしたいのは、こういうことができる等のアイデアが欲しいです。</p> <p>16 頁で言いますと、活動シーンを頭に持ってきておりまして、その下に例えば、1-1 とか 1-2 とかがございます。</p> <p>それぞれの取組みの方向性の大枠については、前回からのご審議いただいた内容で了承していただいているかと思っております。</p> <p>その中身について、区民とか事業者とか、括弧書きしているところがありますが、これだけは我々役人だけの考えだと、漏れとか至らないところがあると思っておりますので、皆さんの目線で私たちだとこうできるとか、こうしているとか、このような取組みがあればいいとか、それぞれアイデアや意見をいただければと思っております。</p> <p>これから、素案から完成版の策定に向けて、このあたりを肉づけしたいと思っておりますので、皆さんの目線で、意見交換をしていただきたいと考えております。</p> <p>以前のドラフト版の意見を含め、このあたりからがお話しがされやすいかなと思っております。</p> <p>田村委員のほうから、ご意見をいただいているところがございますので、素案 15 頁の概念図もそうですけれども、パートナーシップについての記載のところでは具体的な取組が理解しにくいというご意見をいただいております。</p> <p>その施策の内容に解説を加えていただきたいというところですが、皆さんの方では素案 21 頁のところが多分メインの内容です。「しる・まなぶ」、「つながる」というところで、概念図はこのように打ち出しているもので、これの具体的な部分というのは確かにおっしゃる通り、具体的には書いてございません。</p> <p>内容には足りないところがあるかなというふうに考えております。</p> <p>まず、このあたりから、こういう取組みがあるというふうなところを、ご意見いただくとお話ししやすいのかなと思っております。</p> <p>いかがでしょうか、奥会長の方にお返しします。</p>
<p>奥会長</p>	<p>施策のあとに括弧して取組の方向性に関するご意見やアイデアがあれば、こういう視点で取組みというのが考えられるのではないかと、ご意見を頂戴したいということではいかがでしょうか。</p> <p>素案の 16 頁から 21 頁にかけてのところですか。</p> <p>田村委員どうぞ。</p>
<p>田村委員</p>	<p>パートナーシップのところ、意見を申し述べさせていただきましたが、今回、このデジタルかけるリアルという頁を見て、このあたりをもっと膨らましていただければきっといい</p>

田村委員	<p>施策ができるのではというふうに期待しております。</p> <p>できれば先ほど見せていただいたアニメーション動画のように、大田区のホームページの中のバナーから直接飛んでいけるような形にしてもらって、素案の 21 頁にでているイメージのような形でいろんな環境に関わる情報だとか、考え方を区民の皆さんにお知らせしていけるような形にしていいただければ、まさにバーチャルのエコプラザみたいなイメージのものができていくのではと思って期待しております。</p>
奥会長	事務局、何かお答えございますか。
環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)	<p>21 頁のところで、概念的な考え方を記載させていただいております。</p> <p>例えば、動画の中でも紹介があったのですが、今年度から環境計画課のほうで専用 LINE を作りまして、それを起点に今エネファーム（家庭用燃料電池）の補助金を申請していただいたりとかを始めています。</p> <p>もちろん、普及啓発にも使わせていただいております、それが 1 つのハブとなって、いろんなリアルとつなげていくというようなことも考えております。</p> <p>本当に時代はどんどん進んでいますので、今回、環境基本計画の 1 つの目玉としては、こういうデジタルかけるリアルというようなところも、今後の方向性として、力を入れていきたいというところになります。</p> <p>以上です。</p>
奥会長	<p>はい、お願いいたします。</p> <p>行動計画のほうに、つなげていくということで、ご検討いただければと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>はい、志々目副会長、どうぞお願いします。</p>
志々目副会長	<p>全般的にわかりやすくまとめていただきまして、これまでと違うので、多くの人に興味を持ってもらえるのではないかと印象を受けております。その中でサーキュラーエコノミーについて、いくつかのポイントをご説明します。</p> <p>これに加え、ネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの 3 つを国でも呪文のように使っておりますが、このサーキュラーエコノミーは、3 R ・リニューアブルだけではなく、より広がった概念であります。特に今回、環境かける経済という形で、お示しいただいていることは非常に重要だと思います。</p> <p>例えば、今申し上げたようなものに加えて、リペア（修理）とか、あるいはメンテナンスとか、シェアリング、いろんな人とシェアすることで、CO₂もマテリアルとしての廃棄物も減ります。あるいはサービス化して物を持たずにサービスとして使っていくということ幅を広げていくこととなっております。</p> <p>全世界・国でもこの概念を広げてきていますので、是非、大田区にはいろんな企業があると思いますので、そういう経済と連携したケースについて、先ほどご紹介があったような様々な具体的な事例でリアルなものが伝わるように、基礎自治体として工夫をしていただく区民がわかりやすくなり非常に価値が出てくると思います。</p> <p>この内容自体には、特にありませんけど、そういう施策の深め方みたいなものをお考えいただくといいのではないかと考えております。</p>

志々目副会長	<p>それともう1つはすべての人が自分ごととしてというのは、非常に素晴らしいご説明だと思いますが、一方で、環境基本計画というのは、区としての温暖化対策等の側面も含んでいます。もちろん区民や事業者を主体にする部分があると思いますが、やはり区民としては、区として何をやるのかということもおそらく見ると思います。</p> <p>これは今後の計画を詳細化していく段階ないしはその実行計画の中で、区として打ち出せるような取り組みが重要になります。</p> <p>以前ご紹介いただいたようなDXのデジタル化でいうと、資源プラスチック回収事業のDX推進などが該当すると思います。</p> <p>これは他の区にも波及効果があり、大田区としても非常に大きな成果だと思いますので、そういったのを少し具体的に、今後どこかの段階で入れていただくようにご努力いただければ、いいのではないかと思います。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p>
奥会長	<p>非常に貴重なご意見だと思います。</p> <p>事務局、よろしいでしょうか。</p>
環境計画課長	<p>非常に的確なご意見でございます。</p> <p>おっしゃる通り3Rという部分を記載しておりますが、やはりサーキュラーエコノミーということで、修理やシェアリングのような概念をとりこむような工夫も考えていきたいと思えます。</p> <p>それからもう1点、ご指摘いただいた区の取り組みということについて、今現在、大田区役所エコオフィス推進プランという冊子で計画を立てておりますが、この計画の中で、取り組んでいるということをし少し触れていながら、詳しくは本紙を見ていただくという形で、総合的な計画を作りながら工夫していきたいと考えております。</p>
奥会長	<p>他いかがでしょうか。</p>
環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)	<p>今さっきの取り組みのところで、環境基本計画ではなく区全体の基本計画と実施計画が同時並行で策定しているところで、その実行計画で、区による率先行動が取り組みの一つにございまして、そちらの部分でも詳しく伝えていくようなところであります。</p> <p>もちろん、こちらの環境基本計画というようなところでも、しっかり書いていくような形にします。</p>
奥会長	<p>お願いいたします。</p> <p>他はいかがでしょう。</p>
島田副会長	<p>非常に事務局がいろいろご苦労されて、質の良い計画書になりつつあると思います。</p> <p>その中で今は施策の取り組みの方向性というところのお話でございますので、私の専門から見ると、素案18頁の生物多様性の保全・再生〔生物多様性地域戦略〕のところで、例えばということでお話しますと、冒頭に事務局から、主語についてはみんながというふうに読んで欲しいということで説明がありました。</p> <p>そう言われると主語がないなって、「みんなが」で読んでいくと、先ほどのご指摘にありますように、たぶん多くの方が行政は何をやるのと思うところがあるので、この三行の文章の</p>

<p>島田副会長</p>	<p>中に行政がやることも書いてもいいのかなってそんな気がします。</p> <p>それで、さらにその下に抜き出して、黒ポチが3つありますが、この中身については、行動計画で具体的話が出てくるということでよろしいでしょうか。</p> <p>例えば生物多様性に配慮した製品づくり等の事業活動を実践しますとか、これだけでは意味が当然わからないので、具体的な話は、より明快に上の2つもそうですが、説明されたほうがよろしいかと思っております。</p> <p>あわせて、実は生物多様性の保全・再生で、必ずしもいいことばかりではないので、良いという前提で書いてしまうと弊害もあるので、実施計画ではそういったところもお考え頂ければと思います。</p> <p>それから、もう続けて、あと2点ぐらいよろしいですか。</p> <p>ネイチャーポジティブの発想からすると、新しい生物多様性のサイトをつくるというのも非常に大事なことで、これはあまりふれられていないので、そのへんがどうなのかなと、その三行の中の文章で深めていって、ネイチャーポジティブという言葉が結構使われているので、もうちょっとその辺を意識してもいいという気がします。</p> <p>この保全という言葉には、守るという意味と、利用するという2つの意味があり、コンサベーションの意味のうち、保護はプロテクションなので保護は非常に強い言葉になります。</p> <p>保全は、守りながら利用するという意味で、一番下の事業者の「生物多様性に配慮した製品づくり等の事業活動を実施します。」となると保全でいいのかなという気もしますけれども、最近使われるのは活用でもうちょっとこう利用するというのをもう少し強く打ち出して活用するとなっています。</p> <p>そういう言葉もあるので、ちょっと細かい話で大変恐縮ですが、そういったことも検討された方がいいかと思えます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>奥会長</p>	<p>本来であれば、行動計画とセットで見ていただくとより議論が深まるかなと思ってはいますがそこまで事務局のほうでの対応ができていないとのことですので、いかがでしょうか。</p>
<p>環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>島田先生ともご相談させていただきながら、その辺を詰めていきたいと考えております。</p> <p>1点目の黒ポチの部分の中身については行動計画のところ、今後具体的にしていきますというところで、わざとこういう微妙な書き方をしております。</p> <p>あまり具体的にすると、6年使う計画なので、何か時代に遅れたりとか、ズレてきたりする部分もございますので、微妙なさじかげんで書いています。</p> <p>ここは1年回しの行動計画のほうでしっかり確認していきたいというふうに考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>奥会長</p>	<p>お願いいたします。</p> <p>論点2と3がございまして、論点2が鍵となる指標に関する意見アイデアをちょうだいしたいということで、先ほどのみどり率の議論もございましたけれども、今映していただいている本紙11頁の指標のKGIなどの話しになります。</p> <p>こちらについても事務局からご説明ございますか。</p>

論点②カギとなる指標に関する意見やアイデア

環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)	<p>こちらについてはまだ仮置きの部分もございますので、詳しくは一般の方には、話しにくいのかなというふうに考えております。</p> <p>事前にいただいているところで、先ほどのみどり率のことや、志々目副会長からは、この指標の中にはないのですが、素案 17 頁「くらす・はらたく」のところで、今、「健やかで快適な暮らしの実現」というふうしています。</p> <p>ドラフト版では、安全という言い方しているのですが、今そこは快適なという言い方をしている、こちらの部分で先ほどの 14 頁の指標の中では、なかなか生活環境という行動であらわしきれていないので、例えばこの中で指標との関連性が位置付けられるのかがわかると良いのでは、というような意見をいただいております。</p> <p>ここは昨年から悩ましいところで、3つの目標で分けていますので、そのところは、引き続き検討していきます。</p> <p>また、何か皆さんでよいお知恵があれば、お借りしたいなというところで、今日に限らず、何かございましたらお願いします。</p>
奥会長	論点3についてもあわせてご説明ください。

論点③ロードマップ (2030・2050) に関する意見・アイデア

環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)	<p>論点3です。</p> <p>時間も限られていますので、論点3のところを含めて、説明させていただきます。</p> <p>これは最後の部分で、素案本編でいいますと 23 頁です。</p> <p>こちらは本計画の計画年度は 2030 年度までで、さらにその先のポジティブのところ、例えば 2050 年度はカーボンニュートラルの年ですけれども、そこにおいて 2030 年度以降もどういうふうにストーリーを組み立てていかという半分夢の話ですけれども、このようなイメージとさせていただいております。</p> <p>こちらの絵の中では、ウェルビーイングとは言わず、「暮らしの質の向上」という形で、表現しております。</p> <p>事務局のほうで、「3つのゼロのその先、豊かさをもたらすポジティブへ」としているのですが、各表現について、こうした方がもっとわかりやすいとか、もっとカッコいいとかいうようなのがございましたら、これもアイデアをいただきたいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
奥会長	<p>指標の部分とそれからロードマップについては、表現も含めて何かこういうふうにしたらどうかというようなアイデアがございましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>千葉委員、どうぞ。</p>
千葉委員	<p>素案 (14 頁) の脱炭素社会への移行×生活のところで、省エネ行動に取り組む区民の割合が、76.7%と書いてありますが、こういう数字を上げていくときに、若者や子どもたちに、どういうふうに伝えていくのかということが非常に大事だと思います。</p> <p>やっぱり子どもたちが、こういう先ほどの資料の中でいうと、環境に負荷をかけない真の豊かさというものがどういうものなのかということ、子どもたちに植えつけることによ</p>

千葉委員	<p>て、お母さんそれじゃだめだよとか、おばあちゃんそれじゃだめだよというような形にもなっていくのではないかなと思いますし、この 2050 年までのロードマップを見ても、2025 年に小学生だった子は、この 2030 年から 2050 年にかけて、大学を出て、社会人になって、子どもを持つというようなライフサイクルになってくると思います。</p> <p>そういう意味では、この「しる・まなぶ」のところで、これは大田区だけで取り組むかどうかという問題はあるのでしょうかけれども、やはり子どもたちに、「しる・まなぶ」のところに何かいい施策があれば、こういう数字も将来的には良くなっていくのではと思いますので、そのあたりをご検討いただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
奥会長	<p>指標を加えるというよりは、この指標の達成に繋がるように、子どもたちを対象として「しる・まなぶ」の中で、実際に何が打ち出せるかをご検討いただきたいということかと思えますので、行動計画の部分になりますかね。</p>
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>はい、今、行動計画で実施している小・中学校に対する取り組みもいろいろございますけれども、こういう時代ですので、いろんな手法を工夫しながらやっていきたい。</p>
奥会長	<p>他いかがでしょう。</p> <p>ロードマップのところにしてもよろしいかと思います。</p> <p>青山委員、どうぞ。</p>
青山委員	<p>私の理解があってないかもしれないのですが、素案 23 頁のロードマップのところでも3つの目標が掲げられていたと思います。</p> <p>カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーの3つがあり、今回の 2030 年までの環境基本計画で目指すところなのかなと思っていました。</p> <p>今のロードマップの書き方だと 2030 年から 2050 年の間にそこを達成するように見えまして、どういう関係になっているとの理解が正しいでしょうか。</p>
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	<p>こちらについては、言い方が難しいところですが、言い方としてはこの3つの目標でカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーを通じて、2050 年までに持続可能な環境先進都市おたをを目指すというストーリーです。</p> <p>カーボンニュートラルだけでは表現できていないので、カーボンニュートラルへの移行の取組を通じて 2050 年までに移行を完了するというので、2050 年に移行があるわけではないです。</p> <p>移行が 2050 年にあると、まだ移行している途中になってしまうので、2050 年に向かって移行していくということですが、おわかりになりますか。難しいですか。</p>
青山委員	<p>わかりました。</p> <p>この図だけ見てしまうと、2030 年からやればいいのかみたいに思ってしまう人もいる気がしましたので、2025 年の今の丸い形でくくられているところで、ずっと続けていけないといけないですよ。</p> <p>2050 年にはもう達成していかないといけないですよというのが伝わるような図になると</p>

青山委員	よりわかりやすいのかなと思います。
奥会長	なるほど、確かにそうですね。
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	確かにそうだと思います。 ちなみに 2030 年については、カーボンーフ、生物多様性だと損失を止めて回復軌道へという表現をしていて、さらに脱炭素社会への移行を進めていくみたいな順番です。 図については、引き続き検討をさせてください。
青山委員	今からやらなければいけないという意識を植えつけるような、図になるとよりいいかなという気がしました。
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	ありがとうございます。
奥会長	ここも工夫をしていただければと思います。 青山委員はよろしいでしょうか。 他いかがでしょうか。 志々目副会長、お願いいたします。
志々目副会長	1 点だけ確認で教えていただきたいのですが、昨年度末にキーゴールインジケーター (KGI) とキーパフォーマンスインジケーター (KPI) とに分けて説明してもらいました。 先ほどのような生活環境をどうするかという件について、もし KPI を KGI の下にぶら下げるのであれば、今後、行動計画の中で触れるのか、わからないのですが、その辺の立て付けの中でカバーしていくという手もあるではないかと思いました。
環境計画課 計画推進・温暖 化対策担当係長 (事務局)	昨年度の終わりのほうの審議会で、KGIとか、KPIというお話をさせていただいておりました。 この素案の本編にそういうものを表現してくるにあたって、なかなかそこを先に出してしまうと、区民の方とか、なかなか理解するのが難しいかなというものもございまして、基本計画の考え方では、KGIのところまで決めておいて、行動計画のほうでKPIというような考え方で整理しています。 その中で素案16頁のKGIの表現を、「カギとなる指標」と言い方を変えるとともに、なかなかぱっと見て、一般の方には理解しがたいかなと思ひまして、左上のところの文章の中で、「2030年度の目標にどれだけ近づいたかを表します。」という言い方で、KGIの内容を説明しています。 以上です
志々目副会長	よくわかりました。 実際にそれをこの計画で前に出すかどうかは別にして、さっきのような立て付けの話も、今後の実行計画のほうで書くときのインジケーターなんかも活用しながら、ご検討されればいいのではないのでしょうか。
奥会長	他はいかがですか。 島田副会長、お願いします。

<p>島田副会長</p>	<p>2点ございまして、素案 14 頁をご覧ください、指標のところでは事前に事務局にも申し上げたものです。</p> <p>経済のところでは環境に配慮した経営をする企業に括弧して生物多様性とございますが、企業さんも大企業から中小企業まであります。</p> <p>キャノンさんみたいなところは生物多様性を敷地内に意識して、そういう緑地を設けられるような企業さんもございますし、中小企業さん、特に家内工業のような企業もございます。</p> <p>中小企業さんに求めていくのはなかなか厳しいところもあるかと思っておりますので、指標の設定に関しては、十分慎重に検討した方がよろしいかと思っております。</p> <p>中小企業さんがやらなくていいと私が言っている意味ではなくて、そういう現実も、一方であり、配慮が必要だという気がします。</p> <p>そういう意味で、現実と理想のギャップをどううめていくか。</p> <p>多分、事務局が目指しているのは、この環境基本計画というのをマクロ視点の地球、あるいは宇宙を含めてもいいかもしれませんが、それからミクロな視点と2つ視点の両輪をにらみながら、作られていると思うので、ぜひ身近のところの現実というのでも抑えられたいという気がします。</p> <p>一方でロードマップのほうに関して、これはもうアドバルーン的な発言で、文字で書かないけれども、第2次大田区環境計画の目指すところとしてウェルビーイングというようなお話しが事務局でございました。</p> <p>今、環境省にしろ、国土交通省にしろ、大体、今しゃべったようなお話しが出ています。カーボンニュートラルとか、ネイチャーポジティブとあわせてウェルビーイングは必ず言っているので、ウェルビーイングというのは皆さんご承知のように言葉自体は、決して新しいものではなく以前からあったものです。</p> <p>ウェルビーイングを目指すために、大田区版の幸福度、みたいな指標名を考えてみたら、区民に結構受けるなんていうふうに思います。</p> <p>大田区がこれを目指しますというといいのではと、幸福は人によって書き方も違うし、いろいろ国とかの国別の幸福度が挙げられていますけど、大田区版の幸福度は大田区のこんなところがいいというのを訴えられる指標になる可能性があるかなと思います。</p> <p>無理してやる必要はないかもしれませんが、そういう切り口で検討できるとよろしいのではないかと、突飛なことを言ったかもしれません。</p> <p>ご検討いただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>奥会長</p>	<p>事務局のほうもよろしいでしょうか、ご検討くださいということですのでお願いいたします。</p>
<p>環境計画課 計画推進・温暖化対策担当係長 (事務局)</p>	<p>島田副会長から事前にお話をさせていただいたときに、中小企業は厳しいというお話をもういただいております、他にこういう指標があるというようなことも教えていただいておりますので、ここは引き続き検討していくところとらえております。</p> <p>大田区版幸福度については、環境の計画ではありますが、目指すところはまさにそれで、区民の幸福というところがあると思います。ちょっと大きな話ではありますが、そういった</p>

	<p>意気込みで、この計画をつくっていきたいというふうに思っています。</p> <p>以上です。</p>
奥会長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>また、後でお気づきの点もあるかと思ひますし、すぐにご意見が難しいというものもあるかもしれませんので、またお気づきになりましたらお伝えいただくということで、また後でいつまでにどういう形でというのを事務局の方から案内していただければと思ひます。</p> <p>全体を通してでも構いません、他にご意見等はございますでしょうか。</p> <p>それでは、特に追加でのご意見ご質問がないようでしたら、本日の議事は、終了とさせていただきます。</p> <p>本日いただきましたご意見、これから出していただく方もいらっしゃるかと思ひますが、大変貴重なご意見をいただきましたので、素案のブラッシュアップを事務局のほうでは引き続きお願いしたいと思ひます。</p> <p>今、パブリックコメントも実施しているということですので、そちらからも多くのご意見をいただけると、それらを踏まえて素案のブラッシュアップを引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>では本日の議事は、これで終了とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご審議いただき、また活発なご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>では事務局にお返しいたします。</p>
<p>● 【次第 3】 閉会</p>	
環境計画課長	<p>奥会長、進行ありがとうございました。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中ご審議いただき、本当にありがとうございます。</p> <p>次回の審議会につきましては、令和7年2月4日火曜日、午後3時から午後5時までの開催予定として考えてございます。</p> <p>詳細は委員の皆様に変更してお知らせしますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは以上をもちまして、本日の審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>誠にどうもありがとうございました。</p>